

～～第8747回～～

須山口登山道パートⅡ

～R1. 8. 31～

安倍川駅前を車2台に9人が分乗して出発。東名を利用して富士ICを出る。富士スカイラインを經由して水ヶ塚駐車場に6:00着。1台の車を下山する御殿場口へ移動してもらう。駐車場からは、5合目に行くシャトルバスに登山客が続々と乗り込んでいた。私達は6:30水ヶ塚から須山口登山道を宝永火口に向かって出発する。カエデ類の樹林帯に入りとても涼しく足元にはヨメナが咲いていた。2合目左奥斜面に白と黄色の花が群生していた。8:15御殿庭入口の分岐を通過。落葉松林の下には苔が生えコタヌキラン(カヤツリグサ科)のパッチが点々とあり緑のジュウタンを敷いたようだ。9:05ゆるやかな登りにはコケモモが群生している。9:35、3合5勺で、この先は、木陰がないからと、早めの昼食にする。10:00、出発。登り出したとたん吹きさらしの砂礫の急斜面で、樹林帯を登ってきた今迄と違い、強い風が吹き身体を支えるのがやっとでした。10:15御殿場口方面への分岐に着き、宝永火口縁を見上げる。そこまでは更に強風に耐えて登らなければならない。ここでリーダーから、強風のため予定の宝永火口縁まで登るのは止め、そのまま御殿場口方面に進むと指示がでた。下山するにあたり周りを見渡すと左上方には、富士の宮口の小屋が見えていた。下りは、第二火口と第三火口の間を急降下する。ルートは西側の稜線の陰で風は静かで、山の上を見上げると赤茶けた宝永火口付近が雄大に広がって見えた。ここは高山帯のハイマツが生育している位置であるが、富士山では落葉松林となっており大変珍しいそうです。落葉松帯を涼しく抜け出ると陽ざしがきつくムラサキモメンズルやホタルブクロが地面から花を付けていた。緩やかな斜面を進んで行くと双子山が見えてきた。砂礫が続く中にフジアザミとタデ科の赤いメイゲツソウがあちこち咲いて心を癒してくれた。11:05御殿庭入口、11:30小天狗塚と続き山々の谷間を歩き右側の小高い山を急登10分位で頂上ニッ塚下塚に着く。小さな鳥居と社があり景色も良かったが、風が強くてすぐ下山する。前方に御殿場口からの登山者が斜面を登って行くのが見えた。私達はひたすら砂走りの斜面を爪先の痛みをこらえながら下山する。12:30大石茶屋を通過し駐車場12:40着。富士山の火山活動が治まり、地面が冷えて飛んできた種子は、根を地中深く延ばし春から夏に花を咲かせ厳しい条件に耐えて、咲き終わると若い個体は緑の葉を付けて次の年に花を咲かせます。宝永第1火口まで行けたらどんな花が見られたでしょうか？14:30安倍川駅前着。

参加者：9名（静岡西8、焼津1）

天気：晴一時強風

地図：印野・富士山

コースタイム：安倍川駅前500＝水ヶ塚駐車場600-30…2合目750…御殿庭分岐815…3合目905…3合5勺935…木陰で昼食(15)…山体観測装置1015…御殿庭入口1105…小天狗塚1130…ニッ塚下塚1205…大石茶屋1230…御殿場口駐車場1240＝安倍川駅前

14:30

記録：静岡西支部 徳子



須山口登山道を登る



宝永火口縁を下る